



や怪我などの被害を受けることを実感した。用の維持・拡大」の点
けられた皆様に対して これを機に、技術革 では将来的に人の仕事
も、お見舞いを申し上げ 新をふまえた「生産性 が機械や技術に取って
げます。 運動三原則」との関係 替わられるのではない
例年、年始に開催す 性を考えてみた。 かと、表裏一体にある
る挨拶会などでは、私 現在、物流業界では 関係性を危惧する。
の役割として主催者代 物流DXの流れとし ただ、われわれの考
表の挨拶がある。年末 て、行政、メーカーな え方も少しずつ変化を

AI時代も主役は人

まえるとも無理に止める 要となってくるのでは
ものでもない。一つ言 ないだろうか。
えるのは、この先、如 年始早々、そのよう
何に技術が進歩して なことを考えながら、
も、人が主役であり、 被災地の皆様に一刻も
人にしかできない仕事 早く平穏な日々が戻る
もある。大事なことは ことを祈念するとも
進化する技術にあらが に、今年一年が干支の
うのではなく、技術を 「登り竜」の恩恵を受
活用して共存していく け、日本経済が盛り上
ことにある。 がり、労働者にも企業

に何を話そうか悩んで どの協力を得ながら、 加えていくことも肝要
いたが、話題のチャット 自動運転やドローン配 だ。現在、物流以外で
トGPTで作成してみ 送、倉庫内の自動化・ も革新的な技術が至る
ると、ほんの数秒で無 機械化に取り組んでお 所でとてつもないスピ
難な挨拶文が出来上が り、ドライバー不足や ードで、社会に「大き
った。AI生成技術の高 高齢化、長時間労働是 な変化」をもたらして
進化に驚く一方で、従 正などの課題解消につ いるが、この変化は誰
来の働き方や生産性向 ながることが期待され にも止められないし、
上に大きな影響を与え ている。その反面、「雇 社会や産業の発展をふ
い強さ」を持った「労 うぞ宜しくお願い申し
上げます。

まずは、1月1日に
発生した「令和6年能
登半島地震」により、
お亡くなりになった皆
様のご冥福をお祈りす
るとともに、家屋損壊